

# 2年 道徳

主題名	きまりを守る
中心内容項目	C-12 規則の尊重 かくしたボール
令和6年	1月29日 2校時
児童	2年1組 11名
授業者	米野 由利子

## 1 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

児童が成長することは、同時に社会や集団の様々な規範を見につけていくことでもある。約束やきまりを守ることができるようにすることが必要である。

きまりを理解するためには、きまりの意義について考えることが必要である。まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとることが多いこの年齢で具体的な物や場所を大切にすることを心から徳心がはぐくまれるよう指導していくことが大切である。

### (2) 児童の実態（児童観）

まじめであるが、発達段階としては幼い子が多い。少人数学級での学校生活なので、友達関係に限られ、様々な人との生活の経験が少ない面がある。

普段の生活の中では、きまりを守ろうとしている子が多い。しかし、一人での行動の時には特に決まりを守らないことが多い。友達のすることが気になる、決まりを守っていない子のことを伝えてくる子は、その子も一人になった時にきまりを守っていないことが多いのが現状である。

#### 【事前アンケート】

1. につきりなクラスにするために、どんなきまりが大切だと思いますか	
・ろうかのあるきかた	5名
・べんきょうのしかた	6名
・生活のしかた	9名
・学校のきまり	11名
2. 時々まもれないきまりはなんですか	
・ろうかのあるきかた	8名
・べんきょうのしかた	2名
・生活のしかた	4名
・学校のきまり	7名
3. 一番大切だと思うきまりを書いてください	
・ろうかの歩き方、走らな（6名）	
・友だちのことを考える	
・かかってものをさわらない	
・ドアをしめる	
・おもちゃをもってこない	
・あいさつ（2名）	

### (3) 教材への思い（教材観）

ボールけりを頑張りたいと思っている主人公は、ルールをわかってはいたけれど、使いやすいボールを隠してしまう。そのボールを見つけた6年生の言葉にハッとする主人公。児童にとってもわかりやすい設定なので共感して考えられそうである。

### 2 総合単元ユニットとの関係

2年生でいろいろな経験や行事などを通して集団生活の一員として活動してきた。この学年は人数が少ないので、高学年に向けての意欲付けも意識してきた。個人より集団のことを考えたり、周りの空気感を感じられるようになったり、社会性を身に付けてきている。

他の学年とは違い、小集団であるために人間関係が難しい面もあるが、それぞれが集団の一員として様々な場面で活躍してきている。

自分の行いが、集団全体の笑顔につながることを3学期でも総合的に感じられるようにしたい。

### 3 研究との関わり

（学びの主体意識をもち、道徳的な問題を自分事として捉え、自己の生き方を考えられるようにする指導の工夫）

**子供の「？」を大切に、「課題」を設定する**  
 ・ ずれから抱く問題意識  
 ・ 主題や教材の内容に興味や関心をもたせる

**主体意識を抱く発問**  
 ・ 自分事として捉え、価値の理解に迫る。

**共通解・納得解を導き出すための発問**  
 ・ 拡散した考えが収束する発問

## 4 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- ・きまりがあるのは、なぜかを考え、みんなのことを考えたきまりを守ろうとする態度を育てる。

### (2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応（○発問 ◎中心発問）	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 ◎研修との関わり
価値への方向付け	<b>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</b> ○『きいろいベンチ』の学習を思い起こす。 ・ みんなで使うものを大切にする。 ・ 自分勝手にしない。 ○まだ、守れないきまりがあることを話す。 ・ 廊下を走ってしまう。 ・ 次の時間の用意をしないで遊びに行ってしまう。 ≪本時の課題≫ きまりについて考えよう。	●安心感のある雰囲気づくりを行う。 ◎アンケートや掲示物の活用 ●子供たちが安心して自分の考えを話せるように周りの聞き方にも目を向ける。 ◎問題意識をもたせ、学びの主体意識を高める。 ◎道徳的価値に関わる子供の「？」を大切に課題を設定する。
	<b>2 教材「かくしたボール」を通して、「課題」を追求する</b> ○感想を発表し合う。 ・ きまりを守らないのはよくない。 ・ 6年生、すごい。 ・ ボールはみんなの物だと思う。 ○ほかの話をどう思うか。 ・ 自分の事しか考えていない。 ・ みんなのものを独り占めするのは良くない。 ・ ルールをわかっているのだから守らなくてはいけない。 ・ 使いやすいボールなので、上手になりたいからこの日だけいいと思う。 ◎自分のことだけを考えるのはなぜ悪いか。 ・ まわりの人に迷惑がかかる。 ・ みんなのものはルールがあるから。 ・ 自分のことを考えても我慢しなくてはいけないことがある。 ○悪いと思っていでもルールを守れない時、自分になんと言おう。 ・ 守らないとみんな困るよ。 ・ 守らなかったら、自分も後で嫌な気持ちになるよ。 ≪共通解≫ ・ きまりを守ることは、まわりの人のことと自分のことも考えること	●読みの視点「登場人物のしたことについて考えながら読もう」 ●教科書を区切りながら捉えていく。 ●場面絵の掲示 ●よくない点ばかりでなく、良い点についても考えるように言葉かけをする。 ◎道徳的諸価値に関する理解を深める問い「中心発問」 ●グループ交流をや全体交流など様々な交流方法を用いて、本時のねらいに迫る。 ●実際の場面で考えを深めさせる
	<b>3 価値について納得解をまとめる</b> ○今日の学習で自分が思ったことや友達の考えについての感想。	◎この時間の学びを整理しながら共通解を整理する。 ●周りだけではなくきまりを守る自分の気持ちにも目を向けさせる。 ◎子供たち一人一人が、自分との関わりで、納得解をまとめていけるようにサポートする。

### (3) 本時の評価について

- ・きまりがあるのは、なぜかを考え、みんなのことを考えたきまりを守ろうとする態度が育ったか。